

令和5年度第2回県立都市公園利活用等推進有識者会議 議事録

1 日時

令和6年1月30日（火）13時30分から16時33分まで

2 場所

岩手県公会堂 2階 21号室

3 出席構成員（敬称略）

内田尚宏、吉田基、工藤健人、五味壮平、佐々木史恵
（欠席構成員：杉村一郎）

4 議事

- (1) 令和5年度県立都市公園の管理運営状況について
 - ア 県立御所湖広域公園
 - イ 県立花巻広域公園
 - ウ 県立高田松原津波復興祈念公園
 - エ 内丸緑地
- (2) その他（⇒特に議題なし）

.....

議事(1) 令和5年度県立都市公園の管理運営状況について

ア 県立御所湖広域公園

- 冒頭、指定管理者であるKOIWA I・Fから資料により説明した。

座長

ありがとうございました。ただ今の説明に対して御意見・御質問がありましたらお願いいたします。積極的に県に提案・協議してもらっているとの話がありました。特に植栽に関しては、植栽のプロですから、やはり景観がよいという印象があります。

A 氏

非常に分かりやすい説明、ありがとうございます。やはり気になるのは利用者減だと思います。コロナ感染症の時よりも人が来ない。もちろん、猛暑の健康への影響が大きかったと思いますが、それだけではない部分もあるかもしれないというところはあると思うのですが、やはりすごく今、お子さんの数が減っていて、その層のお客が少ないという課題があります。小さいお子さんがいるファミリー層以外の方への訴求、できれば若いカップルとか、それくらいの世代に訴求するような、対策の考えがあれば伺いたい。

スポーツについて、SNSで利用（予約）できるというのは、すごくよい心がけです。今のZ世代、SNS世代への人たちに対応した取組みといえます。

指定管理者（KOIWA I・F）

インターネット上での予約に関しては、イベント関係では今年自然観察会とかで行

いましたし、テニスコート、野球場の運動場の予約も行いました。公園全体では20～30%の利用者の減少となったものの、テニスコートについては、(一昨年度より)増えていた去年以上の利用者数は達成しました。これはネット予約の効果はあったと考えています。

カップル層の利用については、実際に公園としてやっていることはなく、現時点で具体的にやれることが思いつかないが、各構成員からよいアイデアがあれば持ち帰って勉強させていただきたいと思います。

座長

御所湖では、カヌー、2人乗り用のボートが利用できますね。御所湖広域公園のカヌー艇庫との連携も考えられます。

指定管理者 (KOIWA I・F)

周りの施設として、艇庫、多目的サッカー場、そして、宿泊施設としては、つなぎ温泉、鶯宿温泉がありますので、そちらとも連携してお互いに紹介し合っただけで利用者を増やしていけるような取組ができればと思っています。

A 氏

ボートの提案はとても良いと思う。もう1点ですが、公共交通機関が無くなっているという話ですが、ニュースによると今後もっと減るのではないかという状況です。一番心配なのは、観光客の二次交通についてです。こういった方々を公園に来ていただくために、何かこうしたらよいなという思いはありますか。

指定管理者 (KOIWA I・F)

二次交通に関してですが、(鶯宿温泉線の)昨年度バス路線が廃止されたこともあって、ファミリーランド、町場地区園地の3大園地に公共交通機関で利用する手段が全くなかったこともあり、いろいろ考えています。雫石町で「あねっこバス」を運行しており、利用は町民が優先となっていますが、そのところも利用しながら、そこに来るとそういった時間帯にバスが利用できるという具体的に示せるコースがあれば、車ではなく電車で遠方から来るお客様への提案になるのではと考えています。運営しているNPO法人(NPO法人しずくいし・いきいき暮らしネットワーク)とも年1回情報交換する機会があり、意見交換を進めながら、有効に利用できるようなことができればと考えています。

座長

こういった課題は御所湖広域公園全体の入込数が減少しているという課題があると思いますが、そういったところ、D氏に伺いたい。

D 氏

つなぎ温泉の客数はコロナ感染症の流行で減少となり、昨年度少し盛り返しまして、令和5年度は更に盛り返しています。ただし、コロナ禍前の数字を見ますと85%程度にとどまっていて、100%に回復するまでにはまだまだ時間がかかると想定しています。路線バスの鶯宿温泉線が廃止となりまして、つなぎ温泉から鶯宿温泉に行かれる方、御所湖広域公園に行かれる方は苦労しているのが現状です。レンタサイクルを、●で行っており、前は●のみで貸し出していたものを、昨年度から3ホテルに振り分け、かつ10台増やしてお客様の利用を増やすということで分散しております。その結果、レンタサイ

クルの数字は2倍に増えています。ただ、2倍に増えたお客様が広域公園に行っているかと言えば、広域公園の利用者数の実績を見て、レンタサイクルは増えているが、広域公園では減少していることを踏まえると、もしかしたらレンタサイクルのお客様は、盛岡手作り村か、小岩井農場方面に行かれているのかなと今感じております。どうしても旅館、ホテルに任せていることから、そこまで細かい行程、どこに行つて、どう歩いたか、詳しい情報をつかめておりませんので、●としてもできる範囲で、レンタサイクルでどちらに廻ってきたのか、令和6年度からはお客様がどういう動きをなさっているかというのを把握していこうと思います。そして、広域公園では家族連れの方は楽しみにしていらっしゃる方もいて、ほとんどがマイカー利用です。ただ、関東圏から新幹線で来て2泊・3泊する方もいて、どういった形であれば利用しやすくなるのか、御所湖全体の魅力を伝えることができるか、こちら側として協力しながら、例えば、時間を決めてワンボックス車を出すかとか、地域で相談しながら、よい方向に持っていければと思う。

C 氏

従来、バスがあった時にバスを使用して広域公園に来られる利用者は全体の何%だったのか。その影響が実際に数値にどのように影響があるのか分かれば教えて欲しい。また、町場地区園地とファミリーランドに関しては、利用者の落ち込みの分析の説明がありました。乗物広場についても30%減となっているが、原因の部分があれば教えて欲しい。

指定管理者（KOIWA I・F）

乗物広場については、自主事業的なことではあるのですが、来るお客様は車で来られる方が一般的なルートになっています。ただ、町場地区園地・ファミリーランド付近を過去走行していた路線バスがあり、ファミリーランドの場合はJA前（御所）のバス停で降りて、数百メートル先の乗物広場に歩いて来る方もいますが、バス利用の方は全体でいえば数%にしか過ぎないと思います。ただ、県内のお客様は自家用車で来ることができるのですが、関西などの県外からお越しになる方、旅行者について、令和5年中には5件位、お客様からの電話で公共交通機関がないのかという問い合わせがあった。問い合わせにあつては、盛岡駅からレンタカーで来るなり、路線バスでつなぎ温泉まで来てからレンタサイクルを借りて遊びに来てくださいという説明をしています。

乗物広場の利用者数の落ち込みの状況的には、町場地区園地、ファミリーランドと同じ説明となるが、乗物広場につきましては、7月中旬までローラー滑り台が春の点検で使用不可となり、その改善のためにお休みしたこともあり、魅力がなくなったのかなというところもあるのではないかと、無料遊具では一番人気がありましたので、と思います。

C 氏

バスの影響は、数的に20~30%の落ち込みを全部説明する話ではないですけども、という話ですね。

指定管理者（KOIWA I・F）

補足しますと、入込数については、昨年度はまだコロナ禍でもあり、大規模な集客施設（レクリエーション施設等）はオープンとなっていないところもあり、オープンエリアの公園であればよいのではないかと（感染リスクが低い）ということで一時的に増えた

ものと思われます。今年の猛暑ですが、乗物広場の乗物ですが、特に乗物は古くなって廃止となって、自走式の遊び道具が無くなりまして、全て足で漕ぐタイプであり、この暑さだと、子どもはもっと遊びたいといっても、エンジンとなる親の方の負担が大きくて、そういったことで、暑さには厳しかったアイテムだったのかなというところと思います。

B 氏

決算の質問ですが、収入は若干の減となっており、厳しい環境の中で利用者数自体は落しながらも、有料施設等の運営はウェブ予約数が増えて利用料金は確保できた。支出は増加しているが、200万円位の赤字である。水道光熱費の上昇もあり、県にも物価上昇分に対する要求を行っていることは当然のことですが、今回の赤字決算に対してどのような認識でいるのかなど。赤字の運営を続けることは大変なことです。認識を伺いたい。私としては、やらなければならない植栽をやって、その結果、そうなっているであろう。県財政が厳しい中であって、こうなっていく状況の中では、収支バランスの均衡が求められる。一案として、様々な制約があると思いますが、有料化できるものは有料化できないのかという発想に立てるのか。例えば、無料施設は利用者数は減少しているものの、まだかなりの方が利用しています。町場地区園地のバーベキューは無料していただいている。県民にとっては有り難いことである。単純ですが、木炭や薪などの材料の販売や、直接使用料を取ることも。お金を払ってでも利用する方はいると考えられる。バーベキューが出来る場所は少ないし、通常の公園ではできないのです。県に予算があれば需用費とかで賄えればよいのですが、公園側としても必ず無料でなければならないというものなのか、県と確認して利用料を払ってでも利用したいという市民、県民はいらっしゃる。少しでも県民に協力いただきながら運営していくということもある。

長くなったが、まず赤字決算に対する認識を伺いたい。

指定管理者（KOIWA I・F）

県から光熱水費の上昇分は措置していただきましたが、遊具の点検、電気設備の点検に関し、令和4年度と比べて、1回当たりの点検費用は20～25万円程度要するが、業者から25%アップの提示が来ている。現状維持をお願いしたがそれはできないと。電気保安協会の点検料も数十パーセント上昇している。トイレの汲み取り料も来年度以降は1～2割上がるとの話も聞いている。物価上昇の圧力が全面に出てきています。それに加えて、労務費も、岩手県の最低賃金が上昇し、公園の職員は最低賃金のところでやってはいるが、最低賃金が上昇すれば給与も上昇するというので、そういった点もあり、昔のように資金に余裕があれば、間伐や追加の刈り払いを行おうということもあったのですが、指定管理者制になって、どう節減し、どう減らしたらよいかという現状です。

町場地区園地でのバーベキューに対して、バーベキューの食材を販売するかはニーズがあると思う。簡易テントを貸したり、バーベキューのコンロを貸したりするとかは有料で出来るかなとも考えられますが、町場地区園地を担当する職員は2名ほどであり、この職員体制でできるのか、通常の管理に支障が生じてしまうと本末転倒となることから、そうしたことも含めて検討していきたい。

座長

バーベキューは有料としているところが多いのではと思うが、その辺はいかがか。

指定管理者（KOIWA I・F）

バーベキューは開園当初から無料で実施しています。固定客、リピーターも多くなっており、いきなりの有料化は県民からの反発があるのではと危惧されるようです。

座長

そういった中でよい景観が保てていることから、花を見る機会で来客される方も見込めるのではないかと思います。また、提案型の伐採を進めているということも報告されました。

KO I W A I ・ F のみなさん、どうもありがとうございました。

本日の議論を御参考に、来年度もより良い管理に取り組まれるよう、よろしく願いいたします。

.....

イ 県立花巻広域公園

○ 冒頭、指定管理者である公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団から資料により説明した。

座長

各構成員からの御意見・質問をお願いします。

A 氏

御所湖広域公園と同じように利用者が減っていることは十分理解しました。そこでゴルフ場がこの公園の生命線であるということはその通りですが、ゴルフ場の自主事業で初心者ゴルフ教室と書いていますが、内容がどういうものなのか、本当に新規の開拓につながるものなのか、ゴルフを始めようとするとき、練習場までは行けてもコースに行くことのハードルが高いので、そのハードルを下げるような取組があると入りやすいのかなと思いますが、そこを目的とした新規開拓教室なのか、あるいはコースに出たことがある人のための教室なのか、その点をお聞かせください。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

初心者ゴルフ教室、エンジョイゴルフスクールとしてやっていたものです。構成員御指摘のとおり、初心者向け、初心者の方にはいっぱい来ていただいて、ゴルフを始められる、または始めたばかりという方に集まっていたら、企画したものでしたが、ずっと行ってきた結果、もう固定客のスクールになってしまっていました。これでは思わしくないということで、昨年まではゴルフスクールを行いましたが、来年度からはスクールを止めて、近隣の練習場であるとか、盛岡、北上の練習場ではレッスンスクールが行われていますので、そういったところとゴルフ場の利用の連携ということができないか、ゴルフ場自体でスクールを行うのではなくて、練習場でスクールとうまく連携を取るといった形に切り替えるというふうに考えております。

A 氏

練習場に行っても、なかなかコースには行けないので、そういう入り口があると増えるのではないかなと思いました。よろしくをお願いします。

座長

様々な取組を新たにやっていっているなどという印象を持ちます。連携してやる、それが1つのキーワードになります。(御所湖広域公園での) 管理運営のところでもありましたが、運営自体が違うものの、新規の連携が増えていく、つながっていくということもあるので、連携の考えは素晴らしいなど。

B 氏

収支の話ですが、いただいた資料によりますとゴルフ場以外の分は、県から指定管理料を上乗せしていただいたことが、テニスコートの減収分を補って、予算どおり入ってきたと。支出については、収入を上回る支出でこれもまた赤字と。ただ内容を見ますと、状況が(他公園と)違うのであらうと思いますが、御所湖広域公園と比べると、物価高騰の中、消耗品等が逆に減少しておりますし、福利厚生費も減少しておりますが、どういう方針で予算管理を行っていらっしゃるのか。

あと、ゴルフ場の部分におきましては、収入が非常に厳しいということで、こちらも赤字決算になっておりますけれども、活動自体は過去で一番ゴルフ場活用に真剣に取り組んで、PRその他、頑張っって販売促進に努められたのではないのかなと強く感じた次第でございますが、こちらの諸経費が下がっておりますけれども、赤字となっている。変動費が多くて、お客様の利用が少なくて減っている部分と、どうしても必要な固定で出ていく費用があるが、御所湖広域公園とは構造が違うと思うが、決算内容を見ると全然違う形を示している。予算管理上の考え方はどうなっているのか。このままですと運営が非常に大変だと思いますので、この収支に対する自己評価をお聞かせ願えればと思う。

指定管理者(公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団)

事業費的な部分、施設の修繕等については優先順位、必要性、費用対効果を十分に意識して執行してまいりました。それから、ゴルフコースの管理に係る職員の勤務時間なども縮小いたしまして、それで固定費の抑制を図ってはまいりましたが、やはりゴルフコースの管理に掛る費用はそれなりに掛かってしまう。御所湖広域公園のところでも話はあったが、光熱水費・燃料費の高上げに関しては県からの措置をしていただいたという点はあるものの、それ以外でも高騰しており、そして人件費も高くなっているというところもある。ゴルフ場の利用者が増加して収料が上がればよいのですが、今の人口減少、高齢化の状況を見ますと、県民ゴルフ場のみならず、県内どこのゴルフ場でもマイナスの数値が出ておりますので、今後も厳しい状況にあるのではないかと我々も予測しております。そういったことを含めまして、指定管理期間は5年間という形で県から指定管理を受けていますが、現状を県の方でも十分理解いただければなど期待しているところではあります。

B 氏

諸経費分を引いてもかなり厳しい数字となっている気がする。販促活動を継続していただいて、花巻はもとより、もう少し広域に集めることができるのではないかなと考えている。近場が商圈ではあるものの、この周辺(盛岡)までにも情報が入るように営業をかけて、利用者が拡大することを期待しております。

座長

その辺はどうでしょうか、広域に対して、インターネットでPRしていくとか。効果

的な手法は。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

まさに花巻のみならず、ゴルフ場につきましては、盛岡や県南地域にも県民ゴルフ場の割引券を持って行ってPRして参ったところでございます。そういったところに持って行った時に「県民ゴルフ場があったんですか」という状況だということが分かったことから、来年度は県民ゴルフ場を県民に認知していただければならないということで、PR事業を少し予算シフトしてしっかりとゴルフ場を認知いただいたうえで、県民ゴルフ場にお客様が来ていただけるようにしていきたいと思っております。

座長

今、チラシで見たとか、地域にあるということより、インターネットで見て割安だという方が来たりしています。遠くから来る方はせっかく来たのだから花巻温泉に入ってから帰ろうとか、そういった取組みも徐々に広げていっても、少しでも効果は期待できるかなと。

昨年の会議の提案で、花を植えようと。要は、アクティビティーだけだとスポーツ人口が減っている中でなかなか伸びないので、例えば、景観を楽しむ人たち向けの取組みがあればおもしろいと思うが、花をどう活かすか、人は増えたのでしょうか。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

景観だけで人が増えたかどうかというところまでの分析はできないのですが、実は、来年度のお祭りの事業の中にネイチャーゲームと称しまして、自然観察をしながら自然を楽しむという取組みをしようと企画をしています。花の咲く時期であるとかに散策をしていただきながら、自然と触れ合ってもらえるような形で楽しんでいただければ、秋の時期に別の花が咲くのであればその時期にも来てみようかなと。お祭りを契機にして自然と触れ合って、違う時期にも来ていただけるようにつなげていきたいと考えています。

座長

ネイチャーゲームは良いと思います。団体で来たりしますから。ただ、これらの取組で収益につながるかという問題もありますが、いろいろな取組に挑戦してもらえればと思う。

B 氏

御所湖広域公園は集客のためウェブ予約をして集客を維持しているとの話があったが、花巻広域公園の取組は。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

ウェブの予約はゴルフ場利用者の関係であります。楽天GOLAというサイトで予約は受けています。ただし、リクエスト方式という形で、利用したい方が、この日に利用したいという日をクリックした後、事務所でそれを確認して、何時に受付しますからどうぞいらしてくださいという返信を送ったところで予約が確定するというやり方となっていることから、それからワンクリックで、ここを利用したいということをクリックして予約確定できる方法に改めるということを導入しようとしている。楽天GOLAと内容を詰めて、来年度からそういう利用が整うような形で進めることで考えています。

C 氏

先ほど花巻温泉とのタイアップの話があって、いいアイデアだなと思います。花巻市自体が非常に観光名所となっている中で、割引など両方にとってプラスになるような、両方に行ってよいなという取組について、過去取組まれたことがあるのか。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

現在も公園近くの金矢温泉とはゴルフパックというのもやっています。花巻温泉ともそうした話をしたことがあるが、民間ゴルフ場のゴルフパックに関して、かつてコロナ感染症対策での観光振興策（GOTOトラベル等）があった際にはそれを活用してゴルフパックを利用する方が一定程度いたところですが、その観光振興策が終了した途端に利用される方がいなくなってしまったということを花巻温泉側の方から聞いたことがあります。我々も利用者にポイントで特典を交換できる制度を設けて、ある程度来ていただいたお客様方には、温泉の入浴券であるとか、温泉の中で使える商品券であるとか、そういうものを交換してあげて、温泉とゴルフ場の両方を利用する、あるいは花巻温泉が近くにあるので、入浴してその後に、ゴルフをしに行こうかなとか、またはゴルフをした帰りは花巻温泉に入浴するかなとか、温泉とはいろいろ連携していこうと思います。

座長

岩手県スポーツ振興事業団のみなさん、どうもありがとうございました。

本日の議論を御参考に、来年度もより良い管理に取り組まれるよう、よろしく願いいたします。

.....

ウ 県立高田松原津波復興祈念公園

○ 冒頭、指定管理者である県立高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体（一般財団法人公園財団、特定非営利活動法人緑の相談室）から資料により説明した。

座長

各構成員からの御質問・御意見等をお伺いします。

C 氏

昨年8月の有識者会議のメンバーで現地視察をし、実際に非常に美しい公園であることと、様々な課題があることを皆さんも実感されたのではないかなと。私も市民協働に関わるという立場でずっと会議等で打ち合わせをしたりして関わらせていただいています。今日のお話しの中で、非常に努力されていると思うのですが、特に、この公園自体の特異性に難しさの根本があるのだなと思っていて、実際問題、管理者が国、県、陸前高田市ということと、そしてそれぞれの主体がそれぞれで予算を付けて施設運営であるとかを行っているわけです。そして、県の管理の部分はなかなか収益につながるような内容のものがないということ、これをどう考えるかということが1つのポイントになるのではと考えています。それで、去年も同じですが、違和感を感じるのが、公園管理事務所（会議室）の稼働率が実際には分かりやすい指標であって、実際にどの程度達成されているかということが評価ポイントとなっているのですが、全体の事業の中でどれ位の割合を占めているのかということ、やはり、どちらかということメインではない事のような気がして、やはり公園全体の管理、植栽とか、景観管理とかもありますし、そし

て市民協働に関しても非常に重要なポイントではあるのですが、評価の対象にはなりにくいところが大きいのかなと思っています。一方で使う側、市民の側から考えた場合、この公園が幾つかのエリアに分かれていることはほとんど認識されてなく、全体で一つの公園という感じで皆捉えていて、夏になると皆、海に行きますし、観光客の方は国営追悼・祈念施設や道の駅を使う。市民の方はスポーツをするために運動公園を使うわけですが、例えば、市民協働の点で特化して見た時に、公園の中で何かやりたいという時に、必ずしも県エリアで行われるとは限らない、しかし、それは管理上の線引きがある中で、例えば運動公園や高田松原海水浴場で取組をしても市民協働としての評価の対象とならないこともあって、どうしたらよいか、その辺もまずは皆さんと課題を共有して、どういう風に管理の評価を行うのかということ自体を皆さんと一緒に考えなくてはならないのかなと思います。

座長

これは大きな、大切な問題だと思います。利用者の利便性なり、利用者がいかに喜んで安全に使えるかということを目指した時に、そもそも今利用者とは何なのか、利用者とはアクティビティーだけなのかとか、景観を楽しむために来る方もいる。そこにいるだけでのんびり寛ぐ、もしくはそういった気持ちとなる、そういった場所を提供するということでもよいのかなと。確かにそう思う。これはこの場で話をしていくには重いかもしれませんが、そういったことを考えている高田松原津波復興祈念公園の運営ということ。その中で景観に安全性を保つために草刈を追加でしたいのか、管理の中でどのような方法がよいのかという視点かと思う。体系的なところですが。

B 氏

なかなか答えは出ない話ですが、東日本大震災前の高田の公園のエリアは県も関わったエリアなのか。

指定管理者（高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体）

震災前は陸前高田市が管理する高田松原公園（運動場・グラウンド・サッカー場）がありました。そして、野外活動センターがありました。マリナー跡が残っておりますが、そういった形で利用した場所となります。

B 氏

今に始まった問題ではないと思いますが、昔から景勝地です。野外活動センターは県の施設ですか。以前から多分そうだったと思いますが。そうした難しいエリアではありますが、だからこそ、公園財団から全国の他の事例とか、ノウハウとか、いろいろな問題点の指摘の他に、既に発表で新しい御提案をいただいておりますので、どんどんこれからもそういった新しい知見を岩手に教えていただければありがたいと考えております。

A 氏

昨年8月にお話しを聞いた時に比べて、積極的に外に向かって催事関係の発信がされていて、マスコミへの周知やイベントの誘致などもできているという印象です。ただやはり収益をどうしていくかという問題を、深く県とも話し合っていないといけないなと思います。今年夏に歩きましたが、ものすごく暑かったです。日陰が欲しい。管理事務所で何かテントを貸し出してくれたり、非常に広大なので、電動キックボードを貸し

出してくれたら、最高にさわやかな風を浴びることができるだろうなと思いました。利用者の利便性に向けてやれることいっぱいあるなど、それが収益につながって、これが草刈の費用になると思います。アイデアを出して、積極的にやれるところを、お金を取れるところをやっていくという姿勢でないと、いつまでも思うような草刈ができないということになってしまうと思います。

座長

確か、自転車が難しいエリアであるということもありまして、利用を進める中で課題ということがありますでしょうか。

指定管理者（高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体）

国営追悼・祈念施設の周辺が自転車の乗り入れが禁止となっています。自転車の貸出は道の駅がサイクリングのツアー等を実施しています。

座長

公園は広いのですが、キックボードなど乗物を使おうとすると園内の通路が狭いのが課題です。また、水たまりがあったり。かつてはキャンプができたり、近くに野球場があって貸出をしていた。ただ、今のような立派な公園でなくて、割と自由に利用できた。新たな公園となり立派となって管理運営が軸となって大事となって、経費が必要となる。収益だけを考えるとなかなか場所としても難しいかなと思う。この場所はみんなに親んでもらうという場所という言い方は不適切かもしれませんが、公園として良い場所であることは確かです。ここに来てもらうこと、それを上手く考えられれば、そういう方向で進められるというような、そのような体制を作ることを考えるということが良いのかなと考えましたが。

C 氏

この公園は、県の公園であり、岩手県を代表する1つの場所になります。たくさんの方が日本中、場合によっては世界中から来て、そして天皇が植樹されるというような場所にもなっている中で、国の施設の周辺だけが奇麗に整備されているというのでは岩手県にとって大きなイメージダウンとなってしまいます。本来であれば収益性が上がる施設を持っている行政側の多少のサポートがあればよいのですが、なかなかそういうことが難しいという中で、間を埋めるようにエリアが作られているところ、きちんと整備されていること自体が、この全体のエリアの価値を非常に高めるということになっています。それが最終的には、公園全体というか、日本の中での復興祈念公園という大事な場所を維持する、あるいはより多くの方に使っていただくということに間違いなくなっていると思いますので、この辺について、今年は人数が増えた・減った、管理事務所の利用者が増えた・減ったというわけではなくて、認識を変えていく必要があるのかなど。あとはそれを維持する、関わっていく市民の方々の数を評価していく必要があるのかなと感じています。

座長

入込数といいますか、なかなか難しいですね。

市民連携という言葉があったのですが、今思い出しましたが、この公園の左上の方に川原川という川があります。そこは公園となっています。これを設計したのは私の知り合いであるが、県の事業も入っていたのですが、そこは今、川原川ファンクラブという

陸前高田市の市民団体ですが、そちらと連携して、子どもたちのよい遊び場となっています。この川に入っていいよという。こうした市民との連携も考えられないかと思う。8月に話題としたSUP（サップ）は実際には風が強くて難しいのですが、水辺での活動ができるようなことはありかなと思ったりしました。

指定管理者（高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体）

川原川ファンクラブの件ですが、昨年7月末に市民協働グループの催しとして、「川原で遊ぼう」と題し、川原川公園と県立公園にまたがったイベントが開催されて、釣りやアユの塩焼きの振る舞いなどを協働で行いました。

水面の利用に関し、SUPの話をも8月の会議で意見を頂戴していましたが、その後、別の会議において、地元の方からの発言で、追悼の場、鎮魂の場として訪れる方の目に、レジャー利用は快く映らないのではないかという意見が挙げられました。いろいろな面で難しい面があるなと思っています。エリアマネジメントの話がありましたが、そこともつながっている内容でして、公園だけではなくて、陸前高田市は震災から13年となりますが、どういった方向で進んでいくのか、県、陸前高田市と地元の方々と調整しながら、検討ができればと思っています。

座長

そうですね、鎮魂の場である。そして、それだけにとどまらず、利用促進をはかり、活動に取り組んでいる。地域の人たちの思いも大事に進めているということも大切だなと思いました。

C氏

別の観点から、今年は3回草刈ができたということだが、今年は少しだけ指定管理料が増額となっていますが、植樹祭があったからということからでしょうか。来年度は元に戻ってしまうのでしょうか。

（⇒指定管理者：その通りの旨の反応）

座長

そうするとまた草は伸びますね。水たまり、水はけが悪いという問題がありました。土を盛土して固めたのでということだが、その辺は変わらないですか。

指定管理者（高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体）

水はけの悪い状況は変わってはおりませんが、手掘りの排水溝を試験的に設けるなどの対応をしています。大船渡土木センターとも話をしており、排水溝や浸透枳等の設置を検討いただいています。

C氏

昨年の夏に海水浴場が、暑い夏だったということもあって、公園管理事務所前の駐車場が有料駐車場となっていて、海水浴場の管理を委託した、駐車場の管理を行っている陸前高田市・市内法人の収益となっていると伺いました。あの駐車場自体は県の持ち物であるが、そこから一部の利用料をいただいたりはしないのでしょうか。

事務局（岩手県都市計画課）

県立都市公園になる前から慣行で行っていた経緯もあって、当該エリアの利用料は県

側の収入となっていないところです。

C 氏

市内法人の収益となっており、こうしたことから収益が上がらない構造となっているというところか。市内の法人の財政状況も楽ではないと思われるのでそれはそれで簡単な話ではないのだが。

座長

賑わいの場、子どもたちが楽しい場所であればよい。川原川公園のところですね。東北大学のいい川づくりワーキンググループで川原川の活動が取り上げられていて、私も審査員でしたが、技術賞を受賞しました。県土整備部河川課も加わっています。公園の視察の時にもいらしていました。そういうところとも連携して子どもが安全に楽しめる水辺づくりを考えてみないかということ。

そして、自然を活かした公園づくりという方法もあるのではということも話をしました。草を刈るだけではなく、自然を活かした公園の在り方を含めた考え方も出されてもよいのかなと感じました。

指定管理者（高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体）

川原川エリアは川に入れるよう階段で降りられるようになっています。秋はハゼ釣りができますので、こうした利用を進めていければと思います。

A 氏

ここは慰霊の場所との話はもちろんですが、だからといってレジャー利用はけしからんということにはならないと思います。先ほど話がありましたとおり、今生きている人の笑い声があるということが非常に大事だと思います。けしからんという話で委縮してしまうのではなく、ここでしっかり人生を楽しみましょうということが大事ではないかと思います。

座長

そうですね。そのためには子どもたちをいっぱい呼ぶようなことを考えてもよいかもしれません。怒る人はいないと思います。子どもが楽しめるということであれば、大人も興味を持ちますし。

指定管理者（高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体）

防災キャンプの取組を11月に行いましたが、小さなお子さん達が集まって楽しくできました。この公園でのレジャーがダメということではなくて、エリア分けだと思います。この公園の中に運動エリアであったり、道の駅など商業施設の賑わいの場もあり、国営追悼・祈念施設という祈りの場があったりと、場所、場所に合わせた利用が考えられればと思います。

座長

そういう意味では、カニ探しは良いと思う。水辺もありますから。水生生物の調査や、環境学習の一環としてでもよいと思いますし、進めてもよいのではと思う。

そこで、課題が幾つか出されましたが、管理者側で何か意見などを伺いたいと思います。

事務局（岩手県都市計画課）

意見をいただいたとおりで、当該公園が祈りの場ということもありますので、地元の耳を傾けながら、どういった利活用というか、エリアを含め、許容範囲に関しては、時間とともに変化するものと思いますので、地元とも相談しながら進めていきたい。その中で期待されている収益に結び付けることができる内容があれば、進めていければと思います。

座長

高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体のみなさん、どうもありがとうございました。

本日の議論を御参考に、来年度もより良い管理に取り組まれるよう、よろしく願いいたします。

.....

エ 内丸緑地

○ 冒頭、指定管理者である特定非営利活動法人緑の相談室から資料により説明した。

座長

各構成員からの御意見・御質問をお願いします。

A 氏

分かっているならば教えてください。以前、池側の方に木があり、それを伐採して植栽計画が立てられたかと思うのですが、今なお実施されていない。その後どうなったのか、把握していれば教えていただきたい。

事務局（岩手県都市計画課）

現在、盛岡市が中心となり、内丸エリアの一带のプラン、「内丸プラン」が策定されているところでございます。その中で内丸エリアの利用形態が変わってくるということもありまして、内丸緑地の植栽の方も、今後の周辺の利活用の状況を踏まえながら、植栽を検討していくことになると思います。

A 氏

内丸エリアのプランが進行中ということで、まだ公開されていないということですが、その策定された結果を踏まえて、植栽を検討するということでしょうか。

(⇒事務局回答：その通りです)

D 氏

ニューヨークタイムスの関係で、外国のお客様がかなり市内を歩かれているというところで、つなぎ温泉もかなり来ておりました。このような緑地で休憩されるお客様、海外の方はやはり増えたのでしょうか。

指定管理者（特定非営利活動法人緑の相談室）

(説明者が) 毎日巡視しているわけではないのですが、(同法人では) 盛岡城跡公園と

内丸緑地と毎日4回巡視しております。やはり目立つのは、盛岡城跡公園でアジア系の外国の方、ヨーロッパ系の方などだいぶ来ております。直接の把握はしていませんが、内丸緑地でも休んでいる方もおられるかなという、そういう状況です。

C 氏

イベントが従来行われていて、コロナ禍で中止ということがあって、去年はなかったということですが、見通しとしては見えないところがあるかもしれませんけれども、これからまた再開していくような見込があるのでしょうか。

指定管理者（特定非営利活動法人緑の相談室）

例えば、内丸ジャズフェスティバル等々のイベントの実行委員会が別途あって、内丸緑地を見学したことがあって、利用の許可（行為許可）は盛岡広域振興局土木部が対応しますが、我々が企画することはございません。ただ、フリーマーケットでも、ジャズフェスティバルでも、ある時には、我々のテントは4つぐらいあるものですから、テントを貸したりとか、水道、電気の関係とか我々ができる範囲で支援していくということ。我々が能動的に、こうやったらどうですかという（呼びかけをするという）ことはございません。ただ、コロナが収まってくれば、恐らくは、今後、そうしたことが出てくるのではないかなと思っています。

座長

綺麗な景観を維持管理していくということが大きな価値なのかなと思います。

B 氏

ボランティアの方々の高齢化も進んでいるのかなと思うのですが、園芸クラブさんなどに新たに入ってくるとか、そういう話はあるのでしょうか。

指定管理者（特定非営利活動法人緑の相談室）

ボランティアの園芸クラブの関係ですが、現在のボランティアは18名ですが、数年前の多い時には23名でありました。間違いなく高齢化は進んできております。ただ、盛岡市の広報を使って、小さなエリアですけれども、募集しております。やはり多い時には1年に2～3人、通常は1人位の応募があります。花に興味がある、花が好きですという方で、若い方が入ってくる時もありますが、やはり年齢は70歳前後位かなと思います。

座長

やはり、後継者、若い人が入ってくるかどうかと思う。入ってくる時があるということだが、例えば、大学とか、農業高校とかで植栽に興味関心のある子たちをプロが教えますということで、入ってきてもらうということがあるのでしょうか、可能性として。

指定管理者（特定非営利活動法人緑の相談室）

検討はしてなかったのですが、小学校では落ち葉拾いなどの形では活動しております。高等学校は、近くのところがあればよいのですが、時間が掛かる場所では厳しいかなと思います。小学校とは、最近やっていませんが、かつては焼き芋もやりましたし、雪が降れば雪像づくりをやったことがありました。

最近では、盛岡城跡公園の事例ですが、盛岡城跡公園に池（亀ヶ池）があって、子ども

たちが自分たちで企画して、釣竿を持って、ザリガニを釣るなどし、環境問題に取り組むことがありました。こういう取り組みがあると励ましになります。

座長

よい活動をしている、何よりも思いがある方がやるのはとても素敵なことですが、これが育っているのかというのが心配です。後継者というか、興味がある方を育てる、何か高等学校の園芸クラブの同好会などと一緒に組んでやってみるということもあってもよいかなと感じました。頑張っていただけだと思います。

A 氏

今、盛岡市役所が移転する、しないということで、内丸エリアの議論が活発となっています。一方で後背の紺屋町ではマンションが立地し、非常に景観の問題が生じています。その時にこの公園はこのエリアの中心になる、顔になる場所だと思うのです。そういう話し合いを管理者である方も含めて早急に内丸エリアの話を纏めてもらいたいと思う。県の方でも県庁を移転・再建するという話を早急にまとめてこの議論に積極的に参加し、きちんと繋いで、公園を含めた内丸エリア全体の議論に参加していただければなと強く思います。よろしくお願いします。

事務局（岩手県都市計画課）

盛岡市で内丸プランを作っているというところですが、様々な分野の意見が検討されており、県も担当部署が参加していますが、主体は盛岡市で対応しています。エリア全体として魅力あるようなまちづくりを考えていただいています。そうした様子を見ながら、内丸緑地の管理の在り方を考えていきたいと思っています。

座長

そうですね。土手が崩れた場合にどちらが直すという話もありますが、来る人から見たら、特に外国人から見たら、（それは）関係ない話であり、盛岡を代表する景観として見ますから、ぜひ一緒に進める、歴史景観の美しさを合わせた盛岡となる場所だなということと一緒に進めていくということができればなと思いました。

緑の相談室のみなさん、どうもありがとうございました。

本日の議論を御参考に、来年度も引き続き内丸緑地のより良い管理に取り組まれるよう、よろしくお願いいたします。

.....

座長

最後に、本日の会議の取りまとめでございますが、各指定管理者から御説明のあったとおり、令和5年度における県立都市公園の管理運営状況は、構成員の方からも新たな取り組みがあるとか、そういった意見もありましたので、概ね良好であると考えられます。よろしいでしょうか。

（異議なし）

座長

それでは、令和5年度における県立都市公園の管理運営状況については、概ね良好であるものとさせていただきます。

本日の会議で出されました御意見等につきましては、指定管理者と事務局で協議していただき、今後の公園のより良い管理運営に反映していただければと思います。

.....

議事（2）その他

座長

構成員の皆様から何かありますでしょうか。

A 氏

全体的なことを言う機会があるのでここでお話しをしたい。

1点目は、SDGsの視点から公園管理を考える必要があります。県北の方で木炭を作る会社があって、その取組みとして木炭（砕いて粉にして）を地中に埋めることでカーボン減らす試みをやっている例がありますので、公園でも大きく土壌を改良する機会がありましたら、おそらく県の方でも扱っているところがありますので、相談しながら進めてみると面白いかなと思います。興味がありましたら御検討ください。

次に、皆さんの利用者を見てみると、結構年輩の方の利用者が多い。いろいろなメディアで宣伝しているが、ラジオが抜けているのではないかなと。ラジオの岩手県での視聴率は高いと聞いていますので、ラジオを使うと県内の方の訴求になるのではないかと。

座長

他にありますか。それでは事務局からありますか。

事務局（岩手県都市計画課・小野寺総括課長）

本日は長時間の中、座長をはじめ構成員の皆様には、活発な議論をしていただき、ありがとうございました。

今回指定管理者から、今年度の様々な取組の状況と来年度に向けた方向性を説明させていただきましたところですが、共通して言えることとして、利用者の減少が共通しているかなと。また県では指定管理者制度を色々な公共施設で取組みを進めていますが、限られた予算の中で運営していただくという中で、なかなか維持管理が回らない、人件費が高騰していることがありまして、大変なところで管理を進めていただいているところと思います。

御所湖広域公園では、訴求の課題として、現在は主にファミリー層が対象となっていますが、少子化・高齢化を踏まえますと、あらゆる年代に訴求する取組が重要となっていること、また、レンタサイクルの利用が伸びているという話もありましたので、関係の皆様と連携していくのが必要だなと感じさせていただきました。有料化できるところは有料化するというところもあると思います。夏にはPark-PFIの意見も伺ったところですが、やはり歳入の確保が大きな課題かなと思います。

花巻広域公園は、ゴルフ場をはじめ、利用者が減少している課題があります。今年度から県でOBの方への告知を取り組ませていただきましたが、今後も引き続き取り組みます。そして、指定管理者と連携しながら周知の取組み、広域に集める努力を行うとともに、地

域の魅力である花巻温泉ですとか、温泉などの付加価値を加えながら、いろいろな取組を進めることが必要かなと思います。

高田松原津波復興祈念公園につきましては、指定管理者が（植栽を）直営対応していただいている中で、全国植樹祭を大成功に進めることができました。植栽の維持管理が問題になっているところですが、当初から市民の方との協働ということがございましたので、引き続き協働グループ方と意見交換を行い、そして、国、陸前高田市、県の3者がそれぞれ管理を行っていますが、高田松原津波復興祈念公園管理運営協議会で意見交換する場がありますので、状況を共有し、改善できるところは改善につなげて参りたいと思います。

内丸緑地ですが、いろいろなイベントがあって賑やかな場所ではあったものの、コロナ禍があり、そういうイベントが行われなくなっているということがありましたので、いろいろ取組ませていただければと思います。先般、新聞報道で盛岡城跡公園のPark-PFIが進んでいないという記事がありましたが、市民や関係者との意思疎通が重要と考えていますので、こういうところを気を付けながら取組ませていただければと思います。

本日大きく纏めますと、様々な方との連携が大事、ネットワークの構築、そして協働ですとか、今取り組んでいる方の次のステージを考えていくことが大事ということと、県や指定管理者では気づかない公園の魅力を把握する取組を進める必要があると考えています。そして、維持管理やお金の面では、収益を上げる取組を一緒に検討していくということで進めさせていただければと感じました。

話は変わりますが、高田松原津波復興祈念公園は、来年度、令和7年度からの指定管理に向けた選定を行うことにしています。今日の意見も参考としながら、進めていきたいと思っています。

最後になりますが、頂いた意見を大事にしながら、県立都市公園の取組を進めさせていただければと思いますので、引き続き御意見を頂戴できればと思います。長時間、御意見をいただき、本当にありがとうございました。

座長

それでは、以上で議事は終了とします。構成員の皆様、円滑な議事の進行への御協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しする。

.....

4 閉会

令和6年度の会議開催予定の事務連絡をしたうえで、事務局から閉会宣言